

## 宅地ハザードマップへの活用を考慮した盛土マップの検討

### Examination of hills map considered to utilize for residential hazard map

# 中埜 貴元 [1]; 小荒井 衛 [1]

# Takayuki Nakano[1]; Mamoru Koarai[1]

[1] 国土地理院

[1] GSI

国土交通省により示された「大規模盛土造成地の変動予測調査ガイドライン」では、各自治体に対して、宅地ハザードマップを作成することを促している。宅地ハザードマップは、宅地造成に伴う災害に対する住民の理解を深め、宅地造成に伴う災害の防止のために必要な規制を行うことを目的として作成し、公表・活用するものである。宅地ハザードマップには、各自治体が検討した防災や住民の意識啓発に役立つ情報等と、盛土造成地の位置や規模の表示が不可欠である。盛土造成地の範囲は、地形改変前後の地形データの差分を取ることで抽出できるが、それらを宅地ハザードマップに有効な盛土マップとしてわかりやすく表示する手法については検討の余地がある。

そこで我々は、新旧地形の等高線や、盛土の厚さを示した盛土等厚線図またはカラー段彩図を、1枚の基図上にどのように表現すればわかりやすいか、また、カラーユニバーサルデザインに配慮した表現を検討した。本発表ではそれらの表示例を紹介する。